

平和を祈り、文化を繋ぐ。踊れ、広島夏の

ひろしま盆ダンス

Hiroshima Bon Dance

今年も
2日間
開催

入場無料

日時 2019年8月10日(土)・11日(日)祝 会場 旧広島市民球場跡地

各日16:00~21:30 ※雨天などで2日間開催できなかった場合は、12日開催

広島市中区基町5-25

復興の歩み 踊りで伝える

軽快な振り付け、親しみやすい曲調。広島地方の盆踊りで、なじみ深いのが広島音頭だ。8月10、11日に旧広島市民球場跡地(中区)で開かれる「ひろしま盆ダンス2019」の総踊りで披露される。振り付けや歌詞に、原爆投下直後の様子や復興への思いが込められているのは、意外と知られていない。今年の盆ダンスは、踊りの意味を広め、次世代へ受け継ぐのが新たなテーマ。踊りを通して、戦後広島を記憶を継承していく。

踊り子隊



広島音頭の振り付けや意味を学ぶ踊り子隊

広島音頭には、原爆投下からの復興の様子が描かれている。長年、歌詞や振り付けの意味を弟子たちに教えてきたのが、広島県民踊協会の師範伊藤キミ子さん(79)だ。新たな伝承の担い手として、ひろしま盆ダンスで会場を盛り上げるボランティアグループ「踊り子隊」への指導に力を入れている。

踊り子隊は6月、盆ダンスの実行委員会を構成する広島市青少年センターが、広島音頭を若い世代に広めるために結成した。メンバーは10~30歳代で、高校生や大学生たちを中心に集まった。6月中旬にあつた初練習には、きびきびと手ほどきする伊藤さんと師範の加藤美登里さん(79)の姿があった。「所作には意味がある。両手を前に伸ばして、体の前で手をたたく。伊藤さんは自ら手本を示し、「最初に手をたたくのは1度だけ。原爆が落ちたことを表し、二度と落ちたはいけない」という思いが込められている」と強調した。



ASEANの歓迎会では、踊り子隊が広島音頭を披露した

最初はごちゃごちゃな所作も、次第に一連の動きが流れるようになってきた。こうして、二つの所作の意味をかみしめながら型を覚えていく。参加した美鈴が丘高2年の岡本結菜さん(16)は「広島音頭は踊ることがあるけど、このような意味があるとは知らなかった。踊りも込められた願いも、私たち若い世代が受け継いでいきたい」と充実した表情だった。

YouTube「ひろしま盆ダンス」チャンネルで動画公開中! 詳細はこちら



総踊り 広島音頭 鯉は鯉でも お城の鯉は 七つ川の瀬 空から泳ぐ 粋な広島 粋な広島見ておくれ ソレ浮かれてはずんで シャシャントナ さあさ 陽気に朗らか 広島音頭で 踊りんさい



- 1 静止 八呼間待ちます
- 2-3 広島城の天守閣の屋根を描きます
- 4 原爆が(チョン)落ちました(原爆が二度と落ちたはいけないという思いを込め、ひと踊りの中で1回手を打つだけ)
- 5 大変なことが起こっている! 皆が右往左往し、流言飛語も流れ出す
- 6 広島には川がある(様子を進行方向にも交通機関がない)
- 7 舟を漕いで横川あたりまで様子を見て行って
- 8 舟を漕いで横川あたりまで様子を見て行って
- 9 手をかざして様子を見る
- 10 手をかざして様子を見る
- 11 手の動きと同時に前に3歩止まって足をあげる(右左2回繰り返す)あげた右足を左に返す

広島音頭への思い

自身も被爆者である広島県民踊協会の伊藤キミ子さんは、広島音頭に強い思い入れがある。踊りの意義や引き継ぐ若者への願いを聞いた。



踊りの意味を伝える伊藤さん

「広島音頭にはどのような意味が込められていますか。」
歌詞には、広島城の近くに揚げられたこのほりが、きれいに澄み切った川に映っている。原爆投下後、そこには多くの亡きながら重なっていた。その後、復興した粋な広島をみてほしい、という思いが込められています。振り付けは、原爆が投下され、混乱する人の様子を表現しています。(図参照)

「ひろしま盆ダンスでは、どのような気持ちで踊ってほしいですか。」
歌詞は希望に満ちた言葉が綴られています。「広島復興のため、みんなで頑張ろう」という応援歌の意味も持ちますので、元気に朗らかに楽しんでほしいですね。

「歌詞や踊りが、ご自身の体験と歌詞が重なる部分もありますか。」
私は6歳の時、金屋町(南区)の友人の家で遊んでいる時に被爆しました。青白い光が見えたと思った瞬間、爆音とともに家の下敷きになりました。助け出されましたが、頭にけがをし、口の中は血だらけで帰宅。逃げる途中に聞こえたうめき声、つぶれたような泣き声は忘れられません。

戦争は二度とあつてはならないことです。踊りは霊を慰めると言います。その意味を知り、踊り続けることで、原爆の歴史を風化させないことにつながると思います。

「具体的にどのように伝えていきますか。」
広島音頭は、県民踊協会の認定試験の課題曲としても使っています。教室で指導する際、必ず意味を説明しています。今回、私たちが踊り子隊に伝え、さらにメンバーが子どもたちに教え、伝承の輪が広がると、とてもうれしく思います。世代や国籍を超えて、多くの人が集まるひろしま盆ダンスで、平和への願いを発信していきたいです。

主催/ひろしま盆ダンス実行委員会(広島市、広島市教育委員会、広島市文化財団広島市青少年センター、中国新聞社)
後援/広島県、広島県教育委員会、広島商工会議所、広島青年会議所、広島日米協会、広島ハワイアン協会、広島ペルー協会、広島県観光連盟、JICA 中国、広島観光コンベンションビューロー、紙屋町・基町にぎわいづくり協議会、広島市中央部商店街振興組合連合会、広島県民踊協会、武田民謡学院、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz(順不同)

https://hiroshima-bon-dance.jp ひろしま盆ダンス 検索 [お問い合わせ] 中国新聞社地域ビジネス局 〒730-8677 広島市中区土橋町7-1 TEL.082-236-2211(平日9:30~17:30)

